

陶芸作品ができるまで(手びねい編)

まずはどんな物をどんな粘土で作るかを決めます。粘土によって、作るものによって、より良い作り方があります。

監修 陶芸家 三宅直子(水曜教室講師)

① 土練り(荒練り・菊練り)

粘土を形作る前に、粘土内の水分や成分を均一にし、空気をぬくために行います。



② 成形

今回は信楽土(白)を使った器を作ります。やや大きめの器にしようと思しますので**ひも作り**という技法を用います。



③ 削り

②で形作った粘土が少し硬くなったところ(2~3日後)で、様々な道具を使って削り、仕上げます。



④ 乾燥→焼成(素焼き)

自然乾燥で一週間ほど乾かした後、窯詰めをし、約800℃まで10時間ほどかけて温度を上昇させて焼き上げます。



⑤ 下絵付け→釉掛け

専用の顔料や下絵の具で素地に絵付けをします。その後、作品に釉薬をかけて(施釉)本焼きへと進みます。

作品の風合いや使用した粘土と釉薬との相性、焼き上がりが見栄えなどを考えながら施釉を行い、色や質感の変化を楽しみます。



⑥ 本焼き

1,230度~1,250度くらいまで12時間ほどかけて温度を上昇させて焼成します。4~5日後に窯から出てくる作品に出会う時がドキドキの瞬間です。思いもよらなかった自分の作品に出会い、その驚きが更なる創作意欲へとつながります。ぜひ一度、挑戦してみてください。



▲本焼き前



▲完成作品

当プラザでの『陶芸教室』

- ・初心者陶芸教室 年3回 春・秋・冬 1コース 全4回
 - ・水曜、土曜教室 年3回 春・秋・冬 1コース 全12回
- 但し、秋は半期6回も有り

Frontale 川崎フロンターレ公式ファンクラブ

2022シーズン 会員募集中!

皆様を支えられて 川崎フロンターレは26周年!

チケット 会員先行 割引販売!

グッズクーポン

0570-03-5026 川崎フロンターレ後援会

◆お楽しみコーナー

Stage Up 242号クイズに答えよう!

かわさき宙と緑の科学館には、世界に一つしかないプラネタリウム投影機「**○○○○○Ⅲフュージョン**」があります。

下の○にあてはまる言葉を入れてください。

『**○○○○○Ⅲフュージョン**』※ヒントp.6

正解者3名に500円の図書カードを贈呈(発表は発送に代えさせていただきます)

【応募方法】

- ①答え
- ②〒・住所
- ③氏名
- ④Stage Upの入手場所
- ⑤今号の誌面でよかった記事(理由)を書いて、はがき、FAX、Eメールで担当宛、応募してください。

※締切 2022年8月22日(月)必着

〒211-0064 中原区今井南町28-41
川崎市生涯学習財団 Stage Up(ステージアップ)担当
Eメール:stage-up@kpal.or.jp
TEL 044-733-5811 FAX 044-739-0085

※個人情報、発送業務以外の目的では使用しません。

☆241号のクイズの答え・・・柗形